

アウクスブルクを訪れて

赤松 凜

8月22日

私は今回初めて海外に行ったので、ミュンヘン空港に降り立った時から少し緊張感がありました。空港を出て見るもの全ての表記がドイツ語で書かれているのにとっても感動しました。その後にホストファミリーと対面したとき言葉が通じるのかという不安がありました。初日から散歩に連れて行ってくれたり、抹茶のスイーツを食べさせてくれて打ち解けるのに時間はかかりませんでした。

8月23日

この日初めてトラムに乗って市庁舎に行きました。日本の路面電車と違って縦に長く、曲がる時に蛇腹のようにトラムが動くのが印象的でした。市庁舎の黄金の間に入ったとき、市役所とは思えないほどの輝きを放っていて驚きました。市庁舎でアウクスブルク市芳名録に記帳したことはとても貴重な体験でした。

8月24日

アウクスブルク大学を訪れたときは私の通っている大学との違いがたくさんあり驚きました。近所の人たちが大学の中を犬の散歩コースにしていたり大学の中の池で鴨が泳いでいたり自然と触れ合える環境で勉強できることに魅力を感じました。夜は少しお土産を買いその後、ホストファミリーのおススメのイタリア料理屋さんに行き、帰りには駆け込みで終電に乗って帰るといふ忘れられない思い出ができました。

8月25日

滞在している中で日本との違いを発見することが多くありましたが、その中でも子供園では特に遊び方の違いが印象に残っています。



こども園

遊ぶ部屋に入れる人数が決まっていることは混雑して遊べなくなる園児がでなくてとても良い方法だと思いました。夏休みの期間でしたがたくさんの園児がいてとても可愛かったです。

8月26日



ホストファミリーと送別会

この日は日本での研修会で準備してきた

送別会の出し物を披露する日でとても緊張していました。想像していたよりもカルタを楽しんで遊んでくださって尼崎市青年使節団のみんなと頑張って作ってよかったと実感しました。また昨年のアウクスブルク市青年使節団の方々が「風になる」を日本語で歌ってくださってとても感動しました。

8月27日

ホストファミリーと過ごす一日はとても濃かったです。朝はクライビングガーデンをしました。クライビングガーデンとは安全ベルトをつけて木と木の間を綱渡りしたりするスリルあるスポーツです。安全ベルトをつけていましたが、下をみると今にも落ちそうで怖かったです。でもその分楽しかったです。午後にはドイツの民族衣装であるディアンデルをホストファミリーが買ってくださいました。夕方からはディアンデルを着て移動遊園地に行きました。日本の遊園地とは桁違いの速さで回る観覧車に乗りましたが恐怖で写真を撮る右手が震えたのを覚えています。日本の夏祭りのように屋台のようなものが出ていて日本とはまた違って楽しかったです。

8月28日

10日間の滞在の中で特に楽しみにしていたノイシュバンシュタインを見たときは本当にシンデレラ城を見ているようで胸が高まりました。またノイシュバンシュタインまで馬車で行くというお姫様ような体験ができとても素敵な思い出ができました。お城の中からドイツを一望したときは屋根の色が統一されていて緑がたくさんあって綺麗でした。夜にはホストファミリーと長浜市青年使節団の方とバーベキューをしながら星空を眺めてたくさん話したことがとて

も楽しく最終日にふさわしい素敵な夜でした。



ノイシュバンシュタイン城

8月29日

朝起きたときには最終日が来てしまったという気持ちでいっぱいでした。集合場所に到着しバスに乗るまでホストファミリーと過ごした一週間を考えると涙が込み上げてきてバスに乗る直前には涙が止まりませんでした。出会えたことに感謝でしかありません。ミュンヘン空港に着き、初日を思い出してアウクスブルクを訪れることができよかったなと実感しました。

最後に

10日間の滞在は長いようで短かったです。毎日様々なところに連れて行ってくださり、たくさんの美味しい食事を頂きました。日本に帰って家族に話すときも、写真だけでは伝わらないアウクスブルクの良さがありまた訪れて詳しく話せるようになりたいと思いました。とても充実した素晴らしい10日間でした。